

中核団体と位置付けている。その実現には、地域代表性や事業実施機能を高める必要があり、活動費の支援を検討していく。

活動拠点としての会館・集会所の支援については、助成制度の改善を検討していく。

高齢者に対する新たな施策を！

【問】第3回定例会の代表質問で、介護サービスを利用していない元気高齢者が一定の年齢に達した場合、顕彰等を実施すべきと提案した。進捗状況を伺う。

【福祉】要介護認定を受けていない90歳、95歳の高齢者を対象に、健康祝い状と記念品を送ることを検討しており、平成19年度の実施に向けて、引き続き詳細を検討していく。

子ども医療費無料化の拡充を！
【問】都は、小・中学校の医療費の一部を助成する新制度の導入を示した。区長は挨拶の中で、平成19年度から中学校3年生まで入院費を無料化する方針を示した。

【問】都は、小・中学校の医療費の一部を助成する新制度の導入を示した。区長は挨拶の中で、平成19年度から中学校3年生まで入院費を無料化する方針を示した。



公明党 前野 和男 議員

子どもの居場所づくりと新たな図書館サービスの展開を！

安全で安心して暮らすための災害対策支援の構築を！
【問】災害時の連絡網・災害情報・避難場所の告知等の災害対策支援は、ITを活用した災害時コミュニケーション支援システムの構築が有効である。

【問】災害時の連絡網・災害情報・避難場所の告知等の災害対策支援は、ITを活用した災害時コミュニケーション支援システムの構築が有効である。

したが、小学校3年生まで通院費を無料化し、段階的に中学校3年生まで完全無料化にすべきと思うが伺う。

【子育て】平成19年度から中学校3年生までの入院費の無料化を予定しているが、都が創設する「義務教育就学児医療費助成事業」についても、実施に向けて努力していく。

【問】我が党は計18路線の「はるかぜ」拡大を要望してきた。扇・興本地域から西新井駅西口への「はるかぜ」路線拡大を！

【問】我が党は計18路線の「はるかぜ」拡大を要望してきた。扇・興本地域から西新井駅西口方面は、早期に導入すべきと思うが、事業化実現の状況を伺う。

【土木】扇・興本地域は、バス路線が少なく、住民要望も多い「都市交通懇話会」で協議した結果、事業計画路線として、現在詳細調査に入っている。

の周知、災害時の連絡網等、区民が情報を発信することも考慮した、ITを活用した災害時コミュニケーション支援システムの構築についても検討していく。



区立図書館の新たなサービスアップの構築を！

【問】新たな図書館サービスのあり方を構築するための、今後の計画策定スケジュールを伺う。

高齢者の見守り制度の充実を！



公明党 きよみ てるい 議員

ひとり暮らし高齢者の「孤独死」対策が必要です

【問】新宿区では「孤独死対策チーム」を設置し、全庁的な連携と、見守りの強化に取り組むことになった。足立区においては、今後の対応をどのように考えているのか伺う。

【福祉】緊急通報システムの設定や、区民の支え合いによる「あしんネットワーク」により、ひとり暮らし高齢者の見守りに取り組んでいる。今後このネットワークの充実と、見守りのための地域との交流を進め、関

【教育事業】現在、「新しい時代に対応した図書館サービスの基本的な考え方」を探るため、第12期社会教育委員会に諮問している。審議内容を踏まえ、短期的課題は、平成19年度中に対応を検討し、中長期的課題は、平成20年度に出される答申を受け、「(仮称)新たな図書館サービスのあり方」を策定する。

【問】来年度、区では何校程度、いつから開設する考えか伺う。

【教育事業】来年度はモデル校での実施とし、5〜6校程度、新年度の早い時期からの実施を目途に準備を行っている。

【問】新たな図書館サービスのあり方を構築するための、今後の計画策定スケジュールを伺う。

係部課による連携を強化する。地域包括支援センターを活用していただくための工夫を

【問】地域包括支援センターは、高齢者の相談窓口機能を有しているが、あまり知られていない。周知のためのPRはもろろん、工夫が必要と思うが伺う。

【福祉】「あだち広報」で積極的に紹介し、PRリーフレットを、より多くの区民の皆様の目に触れるようにしていく。

今後、地域の各種イベントにも参加し、地域の皆様にも知ってもらうよう努力していく。



竹ノ塚駅のバリアフリー化を要望すべき！

【問】改札口からホームまでは

日本共産党足立区議団

来年度予算は、くらし最優先に



日本共産党 渡辺 修次 議員

くらしを応援する痛みやわらげ手当の支給と施設使用を無料に

【問】国の増税で、収入は変わらないのに増税となり、定率減税の全廃でさらに負担増になる。この痛みをやわらげる手当を支給し、住区センター有料化は撤回すべきと思うがどうか。

【福祉】定率減税の廃止は、従前の税負担に戻すもので、手当等の支給は考えていない。

【区民】公共性を考慮し、一部免除団体の規定を設けている。介護保険法の改悪で取り上げられた施策を区で救え！

【問】区民は、保険料の大幅値上げを押し付けられ、介護予防の特殊ベットの貸与も廃止され、生活援助ヘルパーは1.5時間で打

上りのエスカレーターしかなく利用者からも、下りのエスカレーターがエレベーター設置の要望がある。東武鉄道に早期設置を要望すべきと思うがどうか。

【福祉】駅を利用する方々の要望も強く、エレベーターの設置は必要と考えている。

今後、鉄道立体化の進捗状況を見ながら、鉄道事業者や各関係機関と協議を進めていく。

ち切られた。ベッドの貸与と時間の上乗せ支援を求めます。

また、通所施設の食事代補助を求める陳情を議会で採択したが、未だ実施していない。一般財源で利用できるようにせよ。

【福祉】要介護1以下の方への給付品目に一般寝台を加えることは、厳しい財政状況から困難で、生活援助ヘルパー派遣の上乗せは考えていない。

また、通所介護事業の昼食代は、第3期保険給付額の推移を勘案し、検討を行う。

「学力テスト」の結果で予算に差を付ける方針はやめること

傷つけた。ランク付けは撤回したが、結果で差を付ける方針は変えていない。全ての学校が努力し頑張っている。「差」を付けるのではなく、全ての学校に配当予算を大幅に増やすべきではないか。

【教育次長】「特色ある学校づくり予算」の配分は、学力総合調査の順位によるものではない。その伸び率や学校全体の取り組み状況等を総合的に判断し、「がんばる学校」を支援している。

昨年度を下回らない額を措置し、この方針を変える考えはない。

孤独死をなくす仕組みをつくれ

【問】「孤独死」が社会問題にもなっている。長年社会に尽くされた人間の尊厳を守るためにひとり暮らし高齢者の見守り制度を全庁的に構築せよ。

【区長】この制度は、民生委員やあしん協力員等で構成する「あしんネットワーク」の皆様に支えられている。今後も組織の充実を図り、地域包括支援センターを中心に孤独死をなくすよう取り組むとともに、関係部課による調整会議を開催し、この施策を総合的に進めていく。

六木・佐野・大谷田地域にコミュニティバス誘致を

【問】「区画整理でまちづくり」に協力してきたが、交通が不便との声に心えて、六木・佐野・

